

石神井公園 ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujii Koen Furusato Museum

2010.7 創刊号



石神井公園ふるさと文化館は、豊かな歴史や自然に恵まれた石神井公園に隣接する場所に、平成22年3月28日に開館しました。練馬区の歴史や伝統文化、自然などについて、体験しながら楽しく学ぶことができ、観光情報も発信する新しい博物館です。ぜひ石神井公園ふるさと文化館へおいでください。

区民とともに歩む新しい地域博物館

館長 小金井 靖

石神井公園ふるさと文化館は平成16年度より整備計画に着手し、約5年間をかけて今年3月28日に開館した新しい博物館です。

練馬区は戦後急速に都市化し、今や70万人余りが生活する大都市となり、昔ながらの年中行事や囃子など地域の伝統的な活動や文化を継承・活用し、発展させることは大きな課題となっています。

練馬区では昭和45年に石神井図書館地階に郷土資料室を設置し、古文書や農具などの郷土資料を収集し展示してまいりましたが、狭隘であったため、収蔵資料増加への対応や展示の充実などが課題となっていました。

そのため、新しい施設整備にあたっては、練馬区で育まれてきた伝統文化を生かし、新たな文化創造につなげていくため、区民の皆さまが活発に活動する地域博物館を目指すこととしました。このため計画段階から区民が参画する研究会や検討会を開催し、

延べ500名を超える皆さまと議論し、アイデアを出し合いながら整備を進めてまいりました。

「ふ（ふれあい）る（ルーツをさぐる）さ（さわれる）と（とりかえられる）」を合言葉に、常設展示では、資料に触れたり、試したりできるハンズ・オン展示や実物大再現展示の手法を随所に導入しました。展示と体験のコラボレーションにより静的な観覧から「楽しさ」を契機として、様々な活動へと誘うように展示構成を工夫しています。生涯学習や学校教育との連携、資料収集・保存、調査研究を基礎機能として、地域を知り楽しむことができるよう観光情報の発信も行っています。

開館して3か月が経ち、多くの来館者を迎えることができました。また、多くの区民サポーター（ボランティア）の皆さまが企画・運営に参加していただいております。今後も区民の皆さまとともに歩む博物館でありたいと願っております。

ギャラリー企画展

「ホタル—生命の輝き」写真展



発光しているホタル



産卵中のホタル

6月15日(火)～7月19日(月・祝)

午前9時～午後6時 観覧無料

2階ギャラリー

かつて練馬区内でも生息していたホタルの生態を約40枚の写真パネルによりゲンジボタルを中心紹介します。

ホタルは約1年を水中や地中で過ごした後、わずか2週間、初夏の夜空を幻想的に彩ります。はかなくも美しいホタルの生命の輝きをぜひ感じ取ってください。

収蔵品企画展

「千川上水—千川家文書特別公開—」展



江戸水道配水図

7月1日(木)～8月4日(水)

午前9時～午後6時 観覧無料

2階企画展示室

当館で所蔵する千川家文書の一部を展示します。千川家文書は、千川上水の開削に関わった千川家に伝わっていた文書で、練馬区有形文化財に指定されています。開削当初は江戸の町中に給水され、後に上水沿いの農村の用水としても利用されるようになった千川上水を絵図や文書などにより紹介します。

収藏品紹介

大八車(練馬区指定文化財 全長278.5cm、荷台幅65.0cm、車輪直径126.0cm)

荷物の運搬に使った車です。

この大八車は、大泉町の農家で使用されていたものです。一度に多くの品物を運ぶことができる所以、練馬の農家では、大根などの野菜やたくあん漬などを出荷するのに用いました。

この大八車は、車体の左側に、「免許入間県^(注)」の焼印(検査印)が確認できます。このことから、明治時代の初めに使われていたものであることがわかります。すべて木製で、車輪にも鉄は使われていません。明治初期の大八車は、都内でも珍しいものです。

(平成22年7月現在、常設展示室に展示中)

(注)「入間県」は、明治4(1871)年~6(1873)年の間だけ設置されていた県の呼び名で、現在の埼玉県西北部と東京都の西部にまたがる広い範囲を占めていました。現在の大泉地域の西北部は、入間県に属していました。)



活動日誌

平成22年3月28日開館

開館の前日27日午前に開館式典を、午後に施設見学会を行いました。

開館記念特別展「練馬区の博物館・美術館の共演」

3/28~5/16まで開催

歴史・自然・美術などさまざまな分野にわたる区内12の博物館・美術館から選りすぐりの逸品を公開しました。

また、会期中には次の関連講座を行いました。



開館記念特別展の様子

4/4 「つまみ画体験講座」

4/10 「弦楽器、とくにヴァイオリンの歴史について—近代ヴァイオリン歴史研究における諸説の展開を中心に—」

4/24 「ちひろの水彩画法体験」

5/9 「写真今昔物語」

子供から大人まで幅広い年齢の方々にご参加いただきました。



「ちひろの水彩画法体験」

ふれあい土曜事業

5月からふれあい土曜事業を始めました。子供たちが伝統的な遊び道具をつくったり、館内を探検したりするなどさまざまな体験をします。区民センターの皆さんも講師や朗読の読み手として活躍しています。



「いろいろ端で聞くねりまの昔ばなし」



「勾玉をつくろう」

ふるさと文化講座

6月からふるさと文化講座を始めました。6日は「スローライフのすすめ—120年前の夢はかなったかー」、20日は「ホタルの生態と飼育」です。

「スローライフのすすめ」では区立中学校の新聞部の取材もあり、大人の方々に混じって熱心にペンを走らせていました。



「スローライフのすすめ」

催し物のご案内(7月~10月)

2010 7	2010 8	2010 9	2010 10
3日(土) 七夕飾りをつくろう	6日(金) ナイトミュージアム	4日(土) 火おこし体験	2日(土) でんでんだいこをつくろう
7日(木) 七夕	7日(土) プラネタリウムをつくるよ	5日(日) 江戸時代の村絵図を楽しむ	9日(土) 石神井公園ふるさと文化館を探検しよう
10日(土) 石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	古民家ライトアップ	11日(土) 石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	11日(月祝) 風土が生み出した文化
17日(土) いろり端で聞くねりまの昔ばなし	14日(土) 石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	18日(土) いろり端で聞くねりまの昔ばなし	16日(土) いろり端で聞くねりまの昔ばなし
19日(月祝) 幕末維新期の江戸近郊農村	21日(土) いろり端で聞くねりまの昔ばなし	22日(水) 十五夜	17日(日) 東京近郊の年中行事
24日(土) うちわをつくろう	28日(土) 勾玉をつくろう	25日(土) 繩文土器をつくろう	23日(土) 和紙ぞめ体験
31日(土) 練馬の自然 かざぐるまをつくろう	29日(日) 新しい観光とミュージアムの役割	26日(日) 職人の心意気	30日(土) だるまちょきんぱこをつくろう

ふるさと文化講座 歴史・民俗・自然など、さまざまなテーマの講演です。事前申込制です。

募集時期・方法等については、ねりま区報やホームページ等でお知らせします。

ふれあい土曜事業 子供向けの事業です。いろいろなものを作ったり、遊んだりします。当日、直接会場申込制です(先着順)。

季節体験事業 歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行っています。

展覧会

ギャラリー	「ホタルー生命の輝き」写真展	6月15日(火)~7月19日(月・祝)
	ギャラリー企画展「わがまち練馬の風景—奥下義昭染色画から—」	10月23日(土)~11月28日(日)
企画展示室	収蔵品企画展「千川上水一千川家文書特別公開一」展	7月1日(木)~8月4日(水)
	「没後30年五味康祐の世界」展 主催:練馬区／(財)練馬区文化振興協会	9月5日(日)~10月11日(月・祝)

*会期・内容等は変更になる場合がございます。詳細についてはねりま区報、ホームページ等をご覧ください。

利用のご案内

開館時間 午前9時~午後6時(会議室の利用は、午前9時~午後9時30分)

休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その直後の祝休日でない日)
年末年始(12月29日~1月3日)、臨時休館日

入館料 常設展示無料 ※特別展観覧料は有料

交通案内(平成22年7月現在)

- 西武池袋線「石神井公園駅」下車徒歩15分
- 西武新宿線「上井草駅」下車徒歩20分
- 西武バス「JA東京あおば」下車徒歩5分
(石神井公園駅南口~上井草駅~荻窪駅)
- みどりバス「JA東京あおば」下車徒歩5分
(関町ルート 関町福祉園~上石神井駅~練馬高野台駅~順天堂練馬病院)
- 西武バス「三宝寺池」下車徒歩2分
(長久保~大泉学園駅南口~上井草駅~荻窪駅~阿佐ヶ谷駅)



石神井公園ふるさと文化館ニュース
創刊号

平成22年7月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館

住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

TEL 03-3996-4060 FAX 03-3996-4061

ホームページ <http://www.city.nerima.tokyo.jp/manabu/bunka/furusato/>